

分野	専門分野Ⅰ －基礎看護学－	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	診断・治療に伴う援助技術Ⅰ (感染予防・安楽確保・創傷管理) Care skills for Diagnosis and TreatmentⅠ	単位	1
		時間	30
		方法	講義・演習
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	看護師として附属病院と他病院合わせて20年間の実務経験有		
授業概要	<p>診断・治療に伴う援助技術は、看護師の役割の一つであり、対象が安全に、安心して診療を受けられるように、確実な知識と技術が必要である。本科目では、診療の場における補助技術の中でも、感染予防、安楽確保、創傷管理技術、生体機能管理技術、医療用機器に関する基本的知識を学ぶ。</p> <p>安楽確保の技術は、苦痛の緩和、リラクゼーションにより心地よい感覚を得て自己治癒力を高め病気や障害の治癒に期待して行われる。また、感染予防の技術は、対象の安全や安楽を守るだけでなく、看護師自身の安全を守るためにも必要な知識を学ぶ。創傷管理技術は、感染予防の技術を踏まえて実施される技術であり、対象の目にも見えやすい技術であり、不安にならないように配慮する。そして、生体機能管理技術では、検体の採取と取り扱い、検査時の介助の具体的な方法について学び、「臨床看護総論」の検査を受ける患者の看護につなぐ。医療用機器の発達により、看護師も使いこなさなければならぬ機器が増えているため、それらの機器を使う上での留意点など、共通する事項といくつかの機器操作について学ぶ。</p> <p>診療を受ける対象は、不安を抱えていることも多い。診療の補助技術を提供するにあたり、常に対象に配慮し思いやりを持って対応する姿勢も学ぶ。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染予防の意義と援助方法を理解する。 2. 感染予防のための技術を身につける。 3. 安楽確保の技術の意義と援助方法を理解する。 4. 安楽確保のための技術を身につける。 5. 創傷管理技術の意義と援助方法を理解する。 6. 創傷管理技術を身につける。 7. 生体機能管理技術の意義と援助方法を理解する。 8. 医療用機器の操作の基礎的知識を理解する。 9. 対象の尊厳に配慮する態度を養う。 10. わからないことを自ら考え、調べる姿勢を養う。 11. 主体的に取り組む姿勢を養う。 		
評価方法	<p>終講試験 100点</p> <p>・感染予防技術 50点 ・安楽確保 15点 ・創傷管理技術 21点 ・検体の採取と取り扱い 7点 ・医療機器 7点</p> <p>※基礎看護技術統合で技術試験を行います(感染予防技術)。</p>		
使用テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学【2】 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学【3】 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学【4】 医学書院</p>		
参考図書	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
メッセージ	<p>診療を受ける対象は、症状による苦痛や不安を抱えていることが多いです。対象や自分自身を守るためにも感染予防について学び、対象が安全安楽に診療を受けられるよう技術を学びましょう。特に無菌操作は、清潔と汚染の区別ができるようしっかり技術を習得してください。</p> <p>また、日頃の感染予防にも役立つことも多くあるので、一緒に学習しましょう。</p>		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	I 感染予防技術 1. 感染の成り立ちと 感染予防の基本	感染予防の基礎知識について理解する	感染の成り立ちと感染予防の基本、手指衛生、個人防護用具の装着方法の体験	講義	感染管理 認定看護師

2	2.標準予防策	標準予防策について理解する	感染防止の基礎知識、標準予防策について	講義	感染管理 認定看護師
3	3.感染経路別予防策	感染経路別予防策について理解する	感染経路、それぞれの感染経路別予防策	講義	//
4	4.洗浄・消毒滅菌、医療廃棄物の処理	洗浄・消毒・滅菌、医療廃棄物の処理について理解する	洗浄・消毒・滅菌の基礎知識、医療廃棄物の取り扱いについて	講義	//
5	5.無菌操作	無菌操作の基礎知識とガウンテクニックを理解する	滅菌物の保管、滅菌物の取り扱い、無菌操作の留意事項について ガウンテクニックの基本、ガウンテ装着の体験	講義	//
6	6.無菌操作の実際	無菌操作を実施できる	無菌操作（滅菌物の取り扱い、滅菌物の取り出し方、鑷子の取り扱い、滅菌手袋の着用）の基本を確認しながら演習	演習	//
7	7.統合演習	滅菌手袋の装着・無菌操作を実施できる	感染予防の技術・無菌操作・創処置（手指衛生、個人防護用具の装着と外し方、無菌操作（中心静脈カテーテル挿入部の消毒処置）、ドレッシング材の貼付と剥がし方を対象の状態に応じて実施	演習	
8	Ⅱ創傷管理技術 1.創傷管理の基礎知識	創傷管理の基礎知識について理解する	皮膚の構造や機能、創傷治癒過程や創傷管理の基礎的な知識について	講義	
9	2.創傷処置、褥瘡予防	創傷処置、褥瘡予防へのケアを理解する	創傷の処置や管理について、テープ固定、剥離の方法、包帯法、褥瘡予防へのケアについて	講義	
10	3.包帯法の実際	包帯法の援助技術を身につけることができる	包帯法（テープ・ガーゼ固定、巻軸帯、三角巾固定）の基本を確認しながら演習	演習	
11	Ⅲ安楽確保の技術 1.電法、リラクゼーション	電法の目的や心身へもたらす効果について理解する	電法とは、電法の種類、目的、心身への影響（効果）、根拠について	講義	
12	2.温電法、冷電法の実際	安楽確保のための技術を身につけることができる	温電法（湯たんぽ）、冷電法（氷枕、氷嚢、氷頸）の基本を確認しながら、作成・貼用の演習	演習	
13	Ⅳ生体機能管理技術 検体の採取と取り扱い	主な検体の採取と取り扱いについて理解する	検体検査とは 主な検体の採取と取り扱い（血液検査、尿検査、便検査、喀痰検査）	講義	
14	V.医療用機器 ME 機器と看護	医療用機器の基礎的知識と看護について理解する	医療用機器の使用目的 主な医療用機器（心電図モニター、人工呼吸器、吸引器、吸入療法機器、輸液ポンプ、除細動器） 医療用機器使用時の看護	講義	
15			終講試験		